

下野市立石橋小学校

校長室だより

令和7年5月7日発行 文責 川島

教育目標

「ふるさとを愛し 未来を拓く 石小っ子」 目指す児童像

- ◇自ら考える子
 - ◇豊かな心をもつ子
 - ◇健康でたくましい子
- ◎元気なあいさつのできる子



4月22日に第1回学校運営協議会を開催し、「令和7年度 石橋小学校 学校経営計画」 を承認していただきました。今年度、石橋小学校では以下のようなことを目指して学校経営 をして参ります。今年で、本校は創立152年を迎えます。脈々と受け継がれてきた本校の 歴史と伝統を大切にし、誇りのもてる児童を育てたいと思います。教職員一丸となって取り 組んで参りますので、御支援、御協力のほどよろしくお願いいたします。

1 本校の教育目標

「ふるさとを愛し 未来を拓く 石小っ子」

― 児童が主役 ほめて伸ばす ただしダメなものはダメ ―



自ら考える子

- ・興味・関心をもって学ぶ意欲
- ・主体的に考え表現する力
- ・協力して問題を解決しようとする態度

豊かな心をもつ子

- ・ 人を思いやる温かな心
- ・社会のために尽くそうとする実践力
- 進んであいさつのできるコミュニケーションカ

健康でたくましょ 子

- ・健康を維持増進しようとする意欲
- ・自他共に生命を尊重する態度
- ・根気よく頑張るたくましい心

2 めざす学校像(5つのいっぱい)

(1) あいさついっぱいの学校 〔活力・コミュニケーション力・礼儀正しさ〕

(2) 学びいっぱいの学校 〔学ぶ力〕

(3) 友達いっぱいの学校 〔一のなの

(4) 汗いっぱいの学校 〔健やかな体〕

(5) 花いっぱいの学校 〔教育環境・勤労奉仕の精神〕



3 学校経営の基本方針

(1)「学ぶ力」を育む学習指導の推進

①新学習指導要領の学びを保証する授業づくり

②主体的・対話的で深い学びの実現

③自律的な学習習慣〔家庭学習〕の確立

④教職員の校内研修・教材研究の充実

(2)「豊かな心」を育む教育の推進

- ① 気持ちの伝わるあいさつの励行 ② 道徳教育の充実
- ③ 読書活動の推進
- ④ 体験活動の充実 ⑤ 愛校心・郷土愛を育む教育

(3)「健やかな体」を育む教育の推進

- ① 体力向上を図る指導の充実 ② 健康・安全教育の推進
- ③ 食育の推進

(4) 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進

- ① 通常の学級における特別支援教育の充実
- ② 特別支援学級・通級指導教室の指導の充実

(5) 一人一人を大切にする人権教育の推進

- ① 教職員の人権に関わる資質・能力の向上 ② 児童の人権感覚・人権意識の涵養



- ① 特別活動におけるキャリア教育の充実
- (7) 心の教育を踏まえた児童指導の推進
 - ① いじめの起きにくい学校・学年・学級づくり ② 全校体制による組織的な指導 ③ 教育相談の充実
- (8) 「学び」と「育ち」をつなぐ小中一貫教育の推進
 - ① 9年間を見通した連続性のある教育活動の推進(石橋中学校区小中一貫教育を踏まえて)
- (9) 情報リテラシーを身に付けさせる情報教育の推進

 - ① 情報活用能力の育成 ② 学校ホームページによる情報発信
 - ③ ICT機器、特にタブレット端末を活用した授業の推進 ④ 情報モラル教育の推進
- (10) 学年・学級経営の充実
 - ①誰とでもあいさつができ、ウェル・ビーイングな学年・学級づくり
 - ②所属感や連帯感のある学校・学年・学級行事
- 4 本年度の努力点(上記3「基本方針」の中で、特に本年度、努力する点) ◇重点『気持ちの伝わる元気なあいさつ(「活力・コミュニケーション力・礼儀正しさ」の源)』
- (1) 学力づくり・・・学ぶ楽しさを実感する授業
 - ① 「主体的・対話的で深い学び」のある授業
 - ② 分かる楽しい授業の展開
 - ③ 学年に応じた家庭学習の定着
 - ④ 年間指導計画の自校化
- (2) 心づくり・・・ふれあいの喜びを実感する学級・学年・学校行事
 - ① 気持ちの伝わるあいさつの励行 ② 互いに認め合い、楽しく笑い合える学級づくり
 - ③ 読書の楽しさを教える指導 ④ レジリエンス (立ちなおる) 力の育成
- (3) 健康づくり・・・健康で豊かに生きる喜びを実感する学校生活
 - ① 体力の向上 ② 健康・安全教育の推進 ③ 食育の推進
- (4) 連携づくり・・・家庭・地域との連携及び小中一貫を実感する教育活動
 - ① 学校運営協議会の充実 ② 小中一貫教育の推進 ③ 情報提供の充実



どんな学校を目指すのか→「**学校に来たい」と思う 明るく、元気で、楽しい学校** そのために……明るく元気な挨拶の励行 「考えて」を合い言葉に自分の判断 そして、児童・教職員のウェル・ビーイングを目指します。





